

安全・適正就業だより

令和3年9月10日発行

〈第2号〉

編集・発行 公益社団法人寄居町シルバー人材センター 安全・適正就業委員会

安全・適正就業委員会を開催

委員長 徳丸 義秋

8月20日(金)に、令和3年度第1回安全・適正就業委員会をシルバー人材センター会議室で開催し、以下の項目について審議・承認されました。

1. 今年度も、就業現場の安全を確保するため、就業現場の巡視を行います。
2. 安全・適正就業だよりは、委員が分担して、定期的に発行していきます。
3. 交通安全研修については、新型コロナウイルスの感染拡大にともなうリスク回避のため、講演会形式ではなく、チラシ等の配布により、研修会に替えることとしました。
4. 刈払機等による飛び石事故が多発しています。現在は口頭による事故報告ですが、今後は、書面による「事故報告書」の提出を規定する、就業規約の一部改正を理事会に諮ることとしました。

現場巡視を振り返って
副委員長 中島 一好
安全・適正就業委員会では、就業現場の安全確認や危険要素の排除などを目的に、毎年、就業現場の巡回を実施しています。



就業だより第2号では、前回の現場巡視結果について報告します。

現場巡視は、委員会のメンバーが二班に分かれ、草刈現場で状況確認を行いました。

全体としては優及び良で、おおよその安全基準が満たされていると感じましたが、改善が望ましい点としては、ポリタンクの適正な使用方法、ガソリン缶の

適正な配置、関連機材等の整理整頓が考えられます。

また、当日は真夏日のような天候だったことから

●前日の睡眠は十分だったか

●こまめな水分補給をしているか



●休憩を入れながら仕事をしているか

●麦わら帽子かぶるなど、太陽を遮る工夫をしているか

●：会員の熱中症が心配されましたが、特に大事なことは、仕事前の体調管理です。日頃の体調管理の大切さを考えさせられる現場巡視でした。

スピード控え安全確認

委員 佐藤 博

安全・適正就業だより第2号を発行するにあたり、運転を伴う業務に就いている経験から、運転上の留意事項について紹介します。

私は、派遣業務で役場



上下水道課の水質検査を行つています。

水質検査の内容は、残留塩素濃度・濁り・色の3項目で、私を含めた3名が交代で、一日も休むことなく365日続けています。

検査箇所は、円良田のトイレから始まり、金尾、風布、折原上郷、中間平、トイレ、五ノ坪、男衾地区、用土地区と順番に回り、最後に象ヶ鼻浄水場の合計11箇所です。

一日の走行距離は約51kmですが、山道のところが多く、また、寄居町の名前の入った役場の公用車で走行しているため、次の点に特に留意して運転しています。

■制限速度を遵守(車の流れに乗る場合でもプラス10kmをMax)

■山道では停車して対向車に道を譲る

■一旦停止箇所は、必ず

停止線で停止し、左右の安全確認後に発進

■発進前には、必ず後方を確認する

■検査停車中は、ハザードランプ点灯

私は、現在の業務を4年半ほど続けていますが、交通取り締まりによるスピード違反や、一時停止違反などで、パトカーに検挙されているところに、年間で数件遭遇しています。

皆さんの多くは、職場や現場への通勤や業務として車の運転をされていることと思います。

前記の留意点を参考にしていたら、楽しく・やりがいのある仕事・業務としましょう。



新型コロナに 感染 しないために

新型コロナの感染経路

は「飛沫」と「接触」

●密閉空間

(換気の悪い密閉空間)

●密集場所

(大勢が密集している)

●密接場面

(互いに手を伸ばしたら届く距離での会話など)

の3密を避け、マスクの着用、石けんによる手洗いや手指消毒用アルコールによる消毒、咳エチケットの励行などで、感染リスクを回避しましょう。

飛沫感染は、感染者の飛沫(くしゃみ、せき、つばなど)と一緒にウイルスが放出され、他者がそのウイルスを口や鼻から吸い込んで感染します。

接触感染は、感染者がくしゃみや咳を手で押さえた後、自らの手で周りの物に触れると感染者のウイルスが付きます。

未感染者がその部分に接触すると感染者のウイルスが未感染者の手に付着し、感染者に直接接触しなくても感染します。

安全就業心得 10ヶ条

就業しても事故にあっては、何のための就業であったかわかりません。常に事故を未然に防止することが大切です。

- ◆急がずあわてず、安全第一をこころがけましょう
- ◆道具や器具類は使う前に必ず点検しましょう
- ◆作業に適した動きやすい服装や靴を着用しましょう
- ◆仕事をする前には準備運動で体をほぐしましょう
- ◆体力の低下を十分に自覚し、無理をしないようにしましょう
- ◆就業の現場はいつも整理整頓をこころがけましょう
- ◆共同作業のときは、合図や連絡を正確に行ないましょう
- ◆行き帰りも仕事のうち、交通事故には十分気をつけましょう
- ◆健康管理に留意し、常に健康な状態で就業しましょう
- ◆仕事の前日は十分に睡眠をとりましょう

会話をするときは
マスクをつけましょう!

